

安全の誓い

宮城県内における労働災害発生状況から見ると全産業に対する建設業の死亡災害割合は毎年高い発生率を占めています。

このような現状の中で、仙台建設業協会としては労働災害を少しでも減少させるため、安全大会・定期会議を始め、安全パトロールの強化、安全研修会・講習会を実施することにより、徹底した安全対策に努力しております。

本年8月末現在の仙台労働基準監督署管内における建設業労働災害発生状況は62件と前年同期より40件少なくなっているところであります。今後は事故ゼロとなるよう、業界をあげてより一層努力してまいります。

全国労働衛生週間のスローガン「みなおして 職場の環境 からだの健康」並びに、全国建設業労働災害防止大会スローガンである「安全は 勇気と努力の積み重ね みんなで守る手順とルール」を達成すべく、邁進いたします。

また、本日の安全大会を契機に、労働災害防止の基本に立ちかえり、三大災害である

①墜落・転落災害 ②建設機械・クレーン等災害 ③倒壊・崩壊災害
の防止に加えて、交通災害の防止にも力を入れてまいります。

さらに、本年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、いわゆる“3つの密”（1.密閉空間、2.密集空間、3.密接空間）を避けることを徹底させ「労働災害ゼロ」を目指して努力することを誓います。

令和2年10月2日

一般社団法人 仙台建設業協会